

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
国語	国語総合乙	1	3	必修

到達目標	古典文法の基礎（動詞・形容詞・形容動詞と助動詞）を習得し、各単元を読み解くことで、古文への理解を深める。漢文は、文章を訓読し、基本的な文章を読めるようになる。
-------------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	(1) 古文（説話①）「児の空寝」 「絵仏師良秀」	音読して古典の読みに親しみ、内容や登場人物の心情を読みとる。 動詞を正しく理解する。〈四段・下ニ・ラ変〉	
1学期期末	(2) 古文（物語①）「竹取物語」 (3) 古文（随筆①）「徒然草」	古人のものの見方や生活様式の現代との相違、普遍的な心情を学ぶ。 〈動詞・形容詞 形容動詞〉	
2学期中間	(4) 古文（物語②）「伊勢物語」 (5) 漢文「漢文入門」	歌物語特有の表現を学び、登場人物の心情を理解する。〈助動詞〉 漢文訓読の基礎を学ぶ。〈置き字、再読文字〉	
2学期期末	(6) 漢文（故事成語①）「矛盾」 (7) 漢文（史話①）「十八史略」 (8) 古文（日記①）「土佐日記」 (9) 古文（和歌①）「万葉集」	漢文訓読を活かして、内容を読み取る。〈句形〉 日記文学の内容や登場人物の心情を学ぶ。〈助動詞〉 和歌を読み、味わう。	
学年末	(10) 漢文（漢詩①）「唐詩」 (11) 古文（軍記①）「平家物語」	漢詩の基本的な修辞法を学び、漢詩の豊かな表現に触れる。 語り物独特の表現方法を学ぶ。 〈助動詞・助詞〉	

評価方法と評価のポイント	考查点および小テストの成績、提出物等の平常点によって行う。
---------------------	-------------------------------

教科からのアドバイス

文法書を活用し、古典文法に馴染みましょう。
授業ノートを工夫して作りましょう。
予習・復習の習慣をつけましょう。